

こども広場ひかり評価アンケート(事業者)集計一覧 2021年4月集計 アンケート配布: 13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか 指摘のあった課題点 ・子供の成長とともに室内を広く使う工夫が必要。 ・悪天候時、室内だけでは狭い。	5	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・定員が10名ということでの必要面積は確保できているものの、個別に取り組むスペースに限りがある中で、法人で所有する部分も活用しながら活動場所の拡充を図りたい。 ・スポーツ指導など集団療育では地域の体育施設や集会施設を有効に利用し、荒天時や冬季間の室内運動スペースの確保を担保している。
	② 職員の配置数は適切であるか	9	4		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置数は利用子どもの数により当然最低必要人数は変動する。また個別計画により必要な場合は加配措置をとっているが、今後も子どもたちの療育を優先し人員配置したい。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか 指摘のあった課題点 ・玄関にスロープが欲しい。	5	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・室内はバリアフリー化がなされているが、玄関は未実施のため長期の事業所整備計画の中で実施したい。

業務改善

④	<p>業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか</p> <p>指摘のあった課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参画する時間が取れていない。 	5	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善の取組として、子どもたちの対応について常にPDCAサイクルに基づき、記録と振り返り、継続する支援や検証による取り組みなど、具体的な体制がとられているが、業務全体に対しての視点が弱いため、記録に含めていきたい。
⑤	<p>保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか</p> <p>指摘のあった課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向等はアンケート等の型通りの方法に加え、日常のやり取りから本音を聞き、信頼を得ることも必要。 	4	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・非定期ではあるが保護者との茶話会を開催し、モニタリングとは違った雰囲気でも子どもの話をできる機会を設けている。ただ開催時間の関係から、参加できないご家庭が多いため、開催の曜日や時間帯などを考慮していきたい。
⑥	<p>この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか</p>		4	3	<p>以前は事業所に設置と会報での周知のみだったが、今後はホームページに掲載し、いつでも閲覧可能とします。</p>
⑦	<p>第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか</p>	1	6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで第三者による外部評価が不十分であったので、今後は第三者評価にも力を入れていきたい。

	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	4	・研修計画に基づき、専門性の強化と支援者として必要なスキルを身に付けるよう研修を行っています。今後は人権擁護や虐待防止に向けた研修は頻度を上げて行いたい。
--	---	------------------------------	---	---	---

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	7		・利用開始前における面談により、保護者や子どものニーズをつかみ、専門機関における診断結果の情報から必要な支援や療育について放課後等デイサービス計画に反映させている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	5		・標準化されたアセスメントツールは利用していないが個別支援計画策定に必要な専門機関による検査結果など情報を一元化できるように様式を整えている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	4		活動プログラムの立案は個々から出されたアイデアをスタッフミーティング時に検討し実施している。実施内容を日々検証し、改善を心がけている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	3		
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか 指摘された課題点 ・個々により課題設定が違うためイベント参加。	9	3	1	・日々利用する子どもが変化する中で、個々の課題設定に対する取り組み方に工夫をしながら支援をしている。
⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	2		・個別活動と集団活動は事業実施計画	

	<p>指摘された課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供の状況により集団活動に参加の可否を判断することが難しい。基準を作るべきか？ 				に基づき、活動日の条件にも合わせて組み合わせ実施している。
⑮	<p>支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか</p>	10	3		<ul style="list-style-type: none"> ・日々のスタッフミーティングにおいて、前日の振り返りと引継ぎ事項について確認している。
⑯	<p>支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか</p> <p>指摘のあった課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必ず打合せができる状況を作るべき。 	12	1		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後は時間が取れないため、共有すべき事項を付箋に記録し、翌日のミーティング時にスタッフ間で共有する時間を毎日つくっている。また、不在スタッフにも共有できるよう引継ぎカードを作成している。
⑰	<p>日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか</p> <p>評価された取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援者の気付きをメモし、記録の充実を図るやり方は良いと思う。 	7			<ul style="list-style-type: none"> ・入るスタッフによって子どもへの対応が変わることは好ましくないため、引継ぎ方法を工夫しながら改善につなげていく。
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑱	<p>定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか</p>	9	4		<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとにモニタリングを実施し

						計画見直しの指標としている。
	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	9	4		・十分に考慮したうえで今後も支援を行っていく。
関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	11	2		・基本的に児童発達支援管理責任者が出席している。
	⑳	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか 指摘のあった課題点 ・3月、4月は学校その他の事業所でも異動が多く、情報共有は今まで以上にマメにしていかなければいけないと思う。	6	1		・新年度は特に学校との連絡を密接に行い、これまでの取組の確認や連携の体制など、子どもの情報共有がスムーズに行われるよう配慮している。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか 指摘のあった課題点 ・文書等により情報共有が図られていると思うが、職員間でその様子を知ることは時間的に難しい。	8	3	2	・医療的ケアが必要な子の受け入れの予定はないが、関係機関とは必要な連携が取れるよう常に配慮している。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか 指摘のあった課題点 ・文書等により情報共有が図られていると思うが、職員間でその様子を知ることは時間的に難しい。	12	1		・新一年生が利用の場合は、就学前に利用していた施設への訪問により活動の状況の確認などを行い、情報共有と相互理解を行っている。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等	8	5		・当事業所終了時には支援内容等をま

	<p>の情報を提供する等しているか</p> <p>指摘のあった課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書等により情報共有が図られていると思うが、職員間でその様子を知ることは時間的に難しい。 				<p>とめ、必要な機関に情報提供を行っている。</p>
②5	<p>児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか</p> <p>指摘のあった課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文書等により情報共有が図られていると思うが、職員間でその様子を知ることは時間的に難しい。 	9	4		<ul style="list-style-type: none"> ・発達障害者支援道東地域センターきら星の協力を得て研修や相談の機会を設けている。十分な頻度とはなっていないため、今後は定期的な巡回指導や研修を要望したい。
②6	<p>放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか</p> <p>指摘のあった課題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の課題である。 	5	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・中央児童館への訪問事業や、児童館が主催する地域交流事業などを活用し交流の機会を持っているが、コロナ禍においては自粛が続いているため、改めて機会を設けていきたい。
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
②7	<p>地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか</p>	3	4	6	<ul style="list-style-type: none"> ・別海町障害者自立支援協議会は、開かれた事業が開催されておらず、町から委嘱された委員による会議のみの活動であるため参加の機会がない。委員は条例により町長が委嘱することになっており、当法人及び事業所はその委員にはなっていないが、委嘱を受けた際には積極的に参加する意向である

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	2		・保護者とは定期的な面談を行っている。日常は連絡ノートを活用し、事業所での様子や発達の状況などを伝えている。家庭での様子も共有されている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	8	5		・ペアレントトレーニングについては、まだ具体的に取り組めていない部分であり、今期中で研修計画に組み入れ、積極的な運用を図りたい。
保護者への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	3		・保護者に対してはご利用を打診された際、契約時など状況に応じて必要な情報を提供させてもらっている。 今後も丁寧な説明がなされるよう配慮していきたい。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	4		・頻度は低いが、相談があった際には適切な対応を心掛けている。 当事業所がいつでも安心して相談ができる場所であるということをこれからもしっかりと発信したい。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	4	2	・当事業所に保護者会は無いが、茶

					<p>話会という連携の場をつくっている。</p> <p>子どものことや日常の出来事を共有する場として開催しているが、コロナ禍において開催を自粛することもあった。</p> <p>相互理解・他者理解という点で有効な取り組みと考えるので今後は頻度を上げて開催できるよう配慮したい。</p>
③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	2		<p>・苦情解決窓口となる第3者委員を選任しており、実際の苦情に対しては苦情解決マニュアルに基づいて対応をしているが、子どもたちの様子から課題となる点をいち早く察知し、苦情とならないように配慮する取り組みが必要であることから、日々の観察や点検に力を入れたい。</p>
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	11	2		<p>毎月1回ひかり通信を発行し、子どもたちの活動の様子を伝えるとともに、次月の活動予定や、連絡事項なども盛り込んでいる。利用申し込みの参考にしていただくなど活用していただいている。</p>
③⑤	個人情報に十分注意しているか	12	1		<p>・従業者には守秘義務を課し、外部への発信に関しても十分に配慮している。</p>

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	2	8	3	・障がいや本人の特性に配慮した情報伝達手段を選択して意思疎通を図れるよう配慮していきたい。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか 指摘のあった課題点 ・時間がかかるだろう。			13	・当初は行ってきた部分もあるが、ボランティアの募集なども含めコロナ禍において自粛すべき部分である、今後は実施のための準備を行いたい。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	13			・これまでも周知を行ってきたところであるが、内容の見直しを適時行い、最新の情報を周知していきたい。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13			・警察や消防署の協力をいただいて、必要な訓練を実施している。 コロナ禍において中止された訓練もあるが、今後も地域と連携しながら防災防犯訓練計画に基づき実施したい。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか				・研修機会の確保については、業務中

		13		<p>におけるOJT※も含め、機会確保に努めている。</p> <p>※OJT (On the job training) とは、実務を通じて業務（考慮すべき事項）を伝える従業員の育成を目的とした研修方法。現場ですぐに改善実行できるため、その実用性が確認されている。通常は上司が部下に対し行うが、必要な研修を受けたトレーナーを選任し行うことで効果が高まるとされている。これに対し外部から講師などを招き時間外に行う研修のことをOFF J T (Off the job training) という。</p>
④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			身体拘束についての記述は個別支援計画に必ず明記し保護者への説明を行っている。事業所内ではやむを得ず行う身体拘束についての確認を適時行い、
④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	13		医師の診断によるアレルギーへの対応の他、保護者や本人からの聞き取りの中でアレルギー症状を発する食品の提供に関し配慮を行っている。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか 指摘のあった課題点 ・定期的に行う必要がある			・基本的な危機管理体制の中心となるのがヒヤリハット報告であり、事例を

	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に作り必妥がめる。 ・ヒヤリハットを知らない職員が多く、もっと活用し、非常勤スタッフが出勤した際、こんな事があったのか、こんなところに気をつけよう。と思えるようにしていきたい。 	3	6	4	<p>確認することは職場の中に潜む危険を予知し、危険行動を回避したり、危険の除去を行うことができる。</p> <p>全ての従業者がヒヤリハットの意味を理解し、小さなヒヤリハットを大きな災害としないよう努めたい。</p>
--	---	---	---	---	---